

エコアクション21

環境経営レポート

期間 令和5年4月～令和6年3月



発行日 令和6年 8月29日

株式会社 昭和電気工業



環境省
エコアクション21
認証番号 0007386

環境経営方針

基本方針

当社のモットーである技術と信用を重視し、地球環境に配慮した企業活動の展開と社員一人一人が社会の一員として環境を意識して行動することで地球環境への負荷軽減に力を注いで社会に貢献します。

環境経営方針

当社は建設設備工事（電気設備工事）の事業を行っています。この事業活動により発生する環境への負荷の低減を図るため、エコアクション21環境経営システムを構築運用し全社員が基本方針を踏まえ次に挙げる環境活動に積極的に取り組みます。

- ① 環境関連法規制を遵守します。
- ② 環境目標を定め全ての従業員で取り組みます。
- ③ 二酸化炭素排出量を削減・有害物質を低減し、省エネを推進します。
- ④ 水資源の節水、電気の節電による省資源に努めます。
- ⑤ 事業所・現場より発生する廃棄物の削減または再資源化に努めます。
- ⑥ 環境に配慮した商品・施工の提供を推進します。
- ⑦ 環境経営方針を全ての従業員へ周知致します。
- ⑧ 環境経営の継続的改善を誓約します。
- ⑨ 環境経営レポートを作成し公表致します。

平成 23 年 1 月 1 日（制定）
平成 29 年 3 月 30 日（改訂）
平成 31 年 2 月 21 日（改訂）

高知県高知市昭和町 5 番 12 号
株式会社 昭和電気工業
代表取締役 大井 敏裕

事業所の概要

事業者名及び代表者名

株式会社 昭和電気工業
代表取締役 大井 敏裕

環境管理責任者 大井 孝浩
TEL 088-875-6028 FAX 088-873-6867
e-mail : t.ooi@syouwadk.co.jp

担当者 大井 孝浩
TEL 088-875-6028 FAX 088-873-6867
e-mail : t.ooi@syouwadk.co.jp

エコアクション 21 適用範囲：全活動・全従業員

設立 昭和 41 年 9 月 7 日

資本金 2100 万円

所在地

〒780-0063
高知県高知市昭和町 5 番 12 号
TEL 088-875-6028
FAX 088-873-6867
e-mail : t.ooi@syouwadk.co.jp

事業内容

電気工事業
電気通信工事業

建設業許可

高知県知事許可 (特-2) 第 1326 号
高知県知事許可 (般-5) 第 1326 号

許可の有効期間

令和 3 年 3 月 18 日～令和 8 年 3 月 17 日まで
令和 6 年 3 月 1 日～令和 11 年 2 月 28 日まで

事業の規模

完成工事高 4 億 0696 万円 (令和 5 年度)

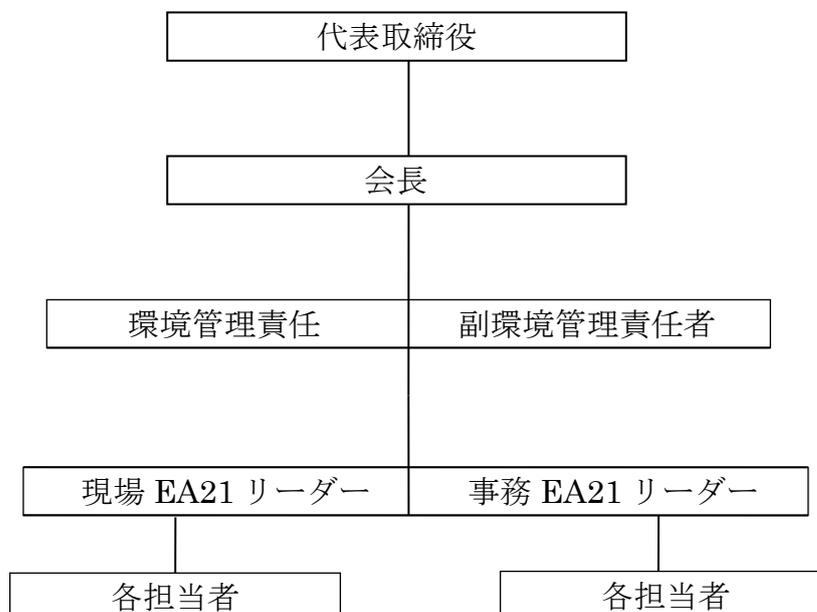
従業員 12 名

建物延べ床面積 356.64 m²

倉庫延べ床面積 87 m²

エコアクション 21 実施体制組織図

エコアクション 21 認証・登録の適用範囲
(全活動・全従業員)



	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任者 環境システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 環境経営目標の設定を承認 全体の評価と見直し・指示を実施
環境管理責任者 副環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 法規制等の要求事項登録を承認 環境経営計画を承認 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告 エコアクション 21 推進会議の議長 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 環境経営目標・環境経営計画原案の作成 環境経営計画の実績の集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
EA21 リーダー	<ul style="list-style-type: none"> 各部門における環境経営システムの実施 各部門における環境経営方針の周知 各部門の従業員に対する教育訓練の実施 各部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 各部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成・テスト・訓練・記録 各部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

環境経営目標と実績及び結果

1)環境経営目標 内が当期(令和5年04月～令和6年03月)目標

※電力の排出量係数 令和5年1月24日環境省公表 令和3年度実績

四国電力(株) 調整後排出係数 (0.532kg-CO₂/kWh) を使用

【全社】

目標削減項目	令和4年度 基準実績	令和5年度 目標(-0.5%)	令和6年度 目標(-1%)	令和7年度 目標(-1.5%)
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	53,041.18	52,775.97	52,510.76	52,245.56
電力使用量(kWh/年)	13,909.00	13,839.45	13,769.91	13,700.36
化石燃料(L/年)	19,582.52	19,484.60	19,386.69	19,288.78
水資源(m ³ /年)	72.00	71.64	71.28	70.92
廃棄物(t/年)	11.03	10.97	10.91	10.86
環境に配慮した施工 現場(配慮した現場数/全現場数)	71.50%	71.85%	72.21%	72.57%

【事務所】

目標削減項目	令和4年度 基準実績	令和5年度 目標(-0.5%)	令和6年度 目標(-1%)	令和7年度 目標(-1.5%)
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	25,055.74	24,930.46	24,805.18	24,679.90
電力使用量(kWh/年)	13,909.00	13,839.45	13,769.91	13,700.36
化石燃料(L/年)	7,610.41	7,572.35	7,534.31	7,496.25
水資源(m ³ /年)	72.00	71.64	71.28	70.92
廃棄物(t/年)	0.35	0.35	0.34	0.34

【現場】

目標削減項目	令和4年度 基準実績	令和5年度 目標(-0.5%)	令和6年度 目標(-1%)	令和7年度 目標(-1.5%)
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	27,985.44	27,845.51	27,705.58	27,565.66
電力使用量(kWh/年)	0	0	0	0
化石燃料(L/年)	11,972.11	11,912.25	11,852.38	11,792.53
廃棄物(t/年)	10.68	10.62	10.57	10.52
環境に配慮した施工 (配慮した現場数/全現場数)	71.50%	71.85%	72.21%	72.57%

2)環境経営目標の実績 内が当期(令和5年度04月～令和6年03月)実績

※電力の排出量係数 令和2年1月7日環境省公表 平成30年度実績

四国電力(株) 調整後排出係数 (0.532kg-CO2/kWh) を使用

※評価におけるマークについて ◎ (30%以上)、○ (0～30%未満)、× (0%未満)

【全社】

目標削減項目	令和4年度 基準実績	令和5年度 目標(-0.5%)	令和5年度 実績	対基準年度 削減率	評価
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	53,041.18	52,775.97	46,163.48	-12.96%	○
電力使用量(kWh/年)	13,909.00	13,839.45	12,610.00	-9.33%	○
化石燃料(L/年)	19,582.52	19,484.60	16,937.80	-13.50%	○
水資源(m3/年)	72.00	71.64	81.50	+13.19%	×
廃棄物(t/年)	11.03	10.97	30.38	+175.43%	×
環境に配慮した施工 現場(配慮した現場数/全現場数)	71.50%	71.85%	72.60%	-	○

【事務所】

目標削減項目	令和4年度 基準実績	令和5年度 目標(-0.5%)	令和5年度 実績	対基準年度 削減率	評価
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	25,055.74	24,930.46	22,975.82	-8.30%	○
電力使用量(kWh/年)	13,909.00	13,839.45	12,610.00	-9.33%	○
化石燃料(L/年)	7,610.41	7,572.35	7,011.77	-7.86%	○
水資源(m3/年)	72.00	71.64	81.50	+13.19%	×
廃棄物(t/年)	0.35	0.35	0.26	-25.71%	○

【現場】 ※現場に配慮した施工については、総工事件数に対して、環境に配慮した件数を割合で表わす。

目標削減項目	令和4年度 基準実績	令和5年度 目標(-0.5%)	令和5年度 実績	対基準年度 削減率	評価
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	27,985.44	27,845.51	23,187.66	-17.14%	○
電力使用量(kWh/年)	0	0	0	-	-
化石燃料(L/年)	11,972.11	11,912.25	9,926.03	-17.09%	○
廃棄物(t/年)	10.68	10.62	30.12	+182.02%	×
環境に配慮した施工 (配慮した現場数/全現場数)	71.50%	71.85%	72.60%	-	○

目標に対する実績評価	
二酸化炭素排出量(kg - CO2)	事務所関係については、指名願いや入札等が電子化されたことにより車両による遠方移動が減少し二酸化炭素排出量を削減することが出来た また、現場についても、遠方工事の減少により二酸化炭素排出量を削減した
電力使用量(kWh/年)	事務所関係の電力使用量は、昼休みや休憩時等の人がない場所のエアコンや照明の電源を切るように注意をし全ての従業員が節電意識を持ち削減することが出来た。 現場については、今回も仮設事務所等の設置がなかった為、現場での電力使用量が無かった。
化石燃料(L/年)	事務所関係については、遠方の指名願いや現場説明や入札等が電子化により営業車両移動が減少し化石燃料を削減出来た 現場については、遠方での工事が少なくなったことや、全ての従業員がエコドライブを意識して削減することが出来た。
水資源(m3/年)	全ての従業員が節水意識を持って行動しているがトイレや洗車等と使用範囲は限られてくるので大幅な増減はないが、今回は増加してしまった
廃棄物(t/年)	事務所の廃棄物は、各自が廃棄物削減意識を持ち若干だが減少することが出来た。 現場では、LED ランプ取替及び LED 照明器具取替や店舗の電気設備改築工事が多数あり、自社に廃棄物を持ち帰る物件が大半を占め産業廃棄物が特に大幅に増減してしまった
環境に配慮した施工 現場(配慮した現場数/全現場数)	前回同様に、各自が環境に配慮した施工を意識して行動したことにより微増出来た

環境経営計画

4月～3月目標	環境経営計画	責任者
電力使用量を令和4年度比0.5%削減	① 長時間使用しないパソコンの電源を切る ② エアごとに照明を点灯し必要以外の照明を点けない ③ エアコンの温度設定夏期 28℃ 冬期 20℃ ④ エアコン高効率化の為フィルターの定期的な清掃	(事務所) EA21 リーダー (現場) EA21 リーダー
ガソリン使用量を令和4年度比0.5%削減	① エコドライブの実施(アイドリングストップ・急発進急停車を避ける) ② 法定の車両点検を徹底して行う ③ 同一箇所への移動時は、必要最小限での車両での移動	(事務所) 担当者 (現場) 担当者
水使用量を令和4年度比0.5%削減	① 節水ラベル表示による意識の向上 ② 小まめな蛇口開閉の徹底 ③ 洗車時は、バケツに水を貯めて水を出しっぱなしにしない	(事務所) EA21 リーダー (現場) EA21 リーダー
廃棄物産出量を令和4年度比0.5%削減	① ミスプリント及び廃棄用紙で裏面が空白な物はメモ用紙として使用する ② 分別を徹底する ③ マニフェストの適正管理	(事務所) EA21 リーダー (現場) EA21 リーダー
ボランティア活動の実施	① 地域ボランティア活動を実施する	(事務所) 担当者 (現場) 担当者
環境に配慮した施工について	① 環境に配慮した施工の提案及び現場数を増やしていく ・材料搬入前の事前計画で搬入回数の削減、仮設配線・コンセント等の再使用、現場提示物の書き換えによる再使用をしていく	(現場) 担当者

環境経営計画の実施状況

※①4～6月②7～9月③10～12月④1～3月⑤総合

○75%以上取組が出来た△50%以上取組が出来た×50%未満の取組
またはボランティア活動については実施回数

取組計画	取組状況					評価及び次年度の取組
	①	②	③	④	⑤	
1.電気使用量の削減 ・長時間使用しないパソコンの電源を切る ・エリアごとの照明点灯必要以外は点灯させない ・エアコンの温度設定 夏期 28℃冬期 20℃ ・エアコンフィルターの定期的な清掃	○	○	○	○	○	使用しないパソコンや不必要な箇所の照明の不点灯等は良く取組が出来ていた、エアコンの設定温度については、猛暑のため温度設定を守れなかったが、次年度は、送風機等を併用し温度設定に対処していく
	○	○	○	○	○	
	△	×	△	○	△	
	○	○	○	○	○	
2.ガソリン・軽油等の燃料の削減 ・エコドライブの実施(急発進・急停車を避け) ・同一箇所への移動は、必要最低限の車両台数で行く ・工事車両に不必要な重量物(電線・工具等)を積載しない	○	○	○	○	○	前回同様、車両への重量物の積載物減少が出来ていなかった 万が一必要なため工具等は積載したいと言う意見もあり対処が難しい次年度も前回同様積載削減意識を持ち減少に努める
	○	△	○	○	○	
	△	△	△	△	△	
3.水使用量の削減 ・節水ラベル表示による意識の向上を図る ・小まめな蛇口開閉の徹底 ・洗車時はバケツに水を貯めて、水を出しっぱなしにしない	○	○	○	○	○	前回同様節水意識を持って行動しているが飲料、トイレ、洗車等の水の使用回数や量によって若干の増減になってしまうが今回は微増してしまった 次年度も節水意識を持ち節水に努める
	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	
4.廃棄物排出量の削減 ・廃棄用紙で裏面が空白な紙はメモ用紙として使用する ・分別の徹底 ・マニフェストの適正管理	○	○	○	○	○	今回は、廃棄物を自社に持ち帰る工事が多数あり、前回より大幅な増加をしてしまった 次年度も削減意識を持ち減少に努める
	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	
5.ボランティア活動の実施 ・年4回	1	0	1	3	5	計画とおりボランティア活動をする事が出来た 次年度も積極的に参加する
6.環境に配慮した施工 ・材料搬入前の事前計画で搬入回数の削減 ・仮設配線・仮設コンセント等の再使用 ・現場掲示物の書き替え等による再使用	○	○	○	△	○	若干だが計画出来た 来年度も環境に配慮した施工を目指す
	△	△	△	△	△	
	△	△	△	△	△	
総括 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に全従業員が環境経営計画に取り組む事が出来ていると感じている ・エアコンの設定温度については、前回同様作業効率の低下が予想されるためなかなか厳守しがたい ・廃棄物排出量については、今回は改修等の排出量が多い工事が多数有り大幅に増加してしまった ・ボランティア活動は前回同様計画を達成出来た ・来年度も環境計画を意識して積極的に取り組んでいく 						

次年度環境経営目標

環境経営目標 内が当期(令和6年04月～令和7年03月)目標

※電力の排出量係数 令和5年1月24日環境省公表 令和3年度実績
四国電力(株) 調整後排出係数 (0.532 kg-CO₂/kWh) を使用

【全社】

目標削減項目	令和4年度 基準実績	令和5年度 目標(-0.5%)	令和6年度 目標(-1%)	令和7年度 目標(-1.5%)
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	53,041.18	52,775.97	52,510.76	52,245.56
電力使用量(kWh/年)	13,909.00	13,839.45	13,769.91	13,700.36
化石燃料(L/年)	19,582.52	19,484.60	19,386.69	19,288.78
水資源(m ³ /年)	72.00	71.64	71.28	70.92
廃棄物(t/年)	11.03	10.97	10.91	10.86
環境に配慮した施工 現場(配慮した現場数/全現場数)	71.50%	71.85%	72.21%	72.57%

【事務所】

目標削減項目	令和4年度 基準実績	令和5年度 目標(-0.5%)	令和6年度 目標(-1%)	令和7年度 目標(-1.5%)
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	25,055.74	24,930.46	24,805.18	24,679.90
電力使用量(kWh/年)	13,909.00	13,839.45	13,769.91	13,700.36
化石燃料(L/年)	7,610.41	7,572.35	7,534.31	7,496.25
水資源(m ³ /年)	72.00	71.64	71.28	70.92
廃棄物(t/年)	0.35	0.35	0.34	0.34

【現場】

目標削減項目	令和4年度 基準実績	令和5年度 目標(-0.5%)	令和6年度 目標(-1%)	令和7年度 目標(-1.5%)
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	27,985.44	27,845.51	27,705.58	27,565.66
電力使用量(kWh/年)	0	0	0	0
化石燃料(L/年)	11,972.11	11,912.25	11,852.38	11,792.53
廃棄物(t/年)	10.68	10.62	10.57	10.52
環境に配慮した施工 (配慮した現場数/全現場数)	71.50%	71.85%	72.21%	72.57%

次年度環境経営計画

4月～3月目標	環境経営計画	責任者
電力使用量を令和4年度比1%削減	① 長時間使用しないパソコンの電源を切る ② エアごとに照明を点灯し必要以外の照明を点けない ③ エアコンの温度設定夏期 28℃ 冬期 20℃ ④ エアコン高効率化の為フィルターの定期的な清掃	(事務所) EA21 リーダー (現場) EA21 リーダー
ガソリン使用量を令和4年度比1%削減	① エコドライブの実施(アイドリングストップ・急発進急停車を避ける) ② 法定の車両点検を徹底して行う ③ 同一箇所への移動時は、必要最小限での車両での移動	(事務所) 担当者 (現場) 担当者
水使用量を令和4年度比1%削減	① 節水ラベル表示による意識の向上 ② 小まめな蛇口開閉の徹底 ③ 洗車時にはバケツに水を入れ、水を出しっぱなしにしない	(事務所) EA21 リーダー (現場) EA21 リーダー
廃棄物産出量を令和4年度比1%削減	① ミスプリント及び廃棄用紙で裏面が空白な物はメモ用紙として使用する ③ 分別を徹底する ③ マニフェストの適正管理	(事務所) EA21 リーダー (現場) EA21 リーダー
ボランティア活動の実施	① 地域ボランティア活動を実施する	(事務所) 担当者 (現場) 担当者
環境に配慮した施工について	① 環境に配慮した施工の提案及び現場数を増やしていく ・材料搬入前の事前計画で搬入回数の削減、仮設配線・コンセント等の再使用、現場提示物の書き換えによる再使用をしていく。	(現場) 担当者

地域ボランティア活動参加報告

活動日 令和 5年 6月 9日 (金)・令和 5年10月17日 (火)・令和 6年 1月24日 (水)
 令和 6年 2月 4日 (日)・令和 6年 3月 3日(日)



地域ボランティア活動参加報告書

活動名称	環境美化重点地域早朝一斉清掃		
主催	高知市・高知市民会館推進協議会		
年月日	令和5年 6月 9日 (金)		
時間	午前	午前	
	7時30分	～ 8時10分	
	午後	午後	
参加者	企業名	㈱昭和電気工業	
	氏名	石元 博貴	
活動内容	午前 7時20分 鏡川みどりの広場 集合 (受付・集合写真撮影) 7時30分 清掃作業開始 ～8時10分 (みどりの広場から中央公園までの街路の清掃活動)		
写真			
証明	上記のとおりボランティア活動に参加したことを証明する。 令和5年 6月 19日 <div style="text-align: right;"> 一般社団法人 高知県設備協会 会長 和田 高雄 </div> 		

環境関連法規等の遵守状況

法規名	内容	評価
建設業法	建設工事の適正な施工	⓪・否
電気工事業法	電気工事業の適正な実施	⓪・否
建設リサイクル法	一定規模以上の建築物等に関する建設工事について、対象建設工事受注者又は自主施工者は一定の技術基準に従い、特定建設資材を分別解体等により現場で分別する義務を負い、特定建設資材廃棄物を再資源化の義務	⓪・否
家電リサイクル法	事業者及び消費者が特定家庭用機器廃棄物を排出する際の収集・運搬料金と再商品化等に必要なりサイクル料の支払い、小売業者による取引及び製造業者等(製造業者、輸入業者)による再商品化等(リサイクル)の義務	⓪・否
廃棄物処理法	保管基準、収集運搬業者・処理業者との委託基準(産業廃棄物管理表の交付等)等の遵守	⓪・否
省エネ法	建築物及び機械器具についてのエネルギーの使用の合理化やその他エネルギーの使用の合理化に努める	⓪・否
大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物等の解体、改造、又は補修作業を伴う工事受注者は、石綿使用の有無について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明するとともに、その結果等を解体等工事現場へ掲示する。 ・建築物石綿含有建材調査者講習を修了した者が事前調査を行う。 	⓪・否
フロン排出抑制法	業務用エアコン設置事業者は、3か月ごとに1回の簡易点検をしなければいけない。簡易点検を行い、記録を保管する(機器廃棄後 3年間)	適・否
高知県環境基本条例	事業活動を行うにあたっては、これに伴って生じる公害を防止し、廃棄物を適正に処理し、自然環境を適正に保全する為に必要な措置を講ずるとともに、環境の保全上の支障を防止する為、事業活動に伴う環境への負荷の低減に努めなければならない。	⓪・否
高知市環境基本条例	廃棄物の排出の抑制、分別及び再生利用の促進等による減量を推進すると共に、廃棄物を適正に処理し、並びに生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全、環境美化の促進並びに公衆衛生の向上を図る。	⓪・否

※ 当社に適用される環境法規は上記であり、上記法令の全てを遵守しております。
 なお、これらの法令に対する違反、訴訟等は過去3年間は、一切ありません。

【 代表者による全体の評価と見直し・指示 】

今回は、水使用量及び廃棄物排出量以外は目標を達成することが出来た。

電力使用量については、事務所での温度設定が守れなかった部分もあるが人のいない場所の小まめな消灯やパソコン等の待機電力の電源カットなど各自が注意し目標を達成することが出来た。

化石燃料については、事務所においては官庁提出書類や入札関係等が電子化され車両移動の減少により達成することが出来た。

また、現場においては今回遠方の現場の減少や各自のエコドライブや複数乗車等の日々努力により達成することが出来た。

二酸化炭素排出量については、電力使用量及び化石燃料と連動しているので上記記載内容と同じで目標を達成することが出来た。

しかし、水資源及び廃棄物排出量は、目標を達成することが出来なかった水資源については、各自は努力しているが必要頻度が多くなり若干増加してしまった。また、廃棄物排出量については、今回は改修等の排出量が多い工事が多数有り大幅に増加してしまった。

今回目標を達成することが出来た項目については、引き続き各自がエコ意識を持ち努力して下さい。

今回達成することが出来なかった水資源及び廃棄物については、努力だけでは達成が難しいが頑張ってください。

環境経営方針については、前回同様全従業員に浸透しており変更はしない。実施体制についても現状維持で行く。

これからも、目標を達成する為に全従業員が環境負荷の低減に努めて下さい。